

SAKAMOTO DAYSの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	SAKAMOTO DAYSの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	SAKAMOTO DAYSを読んだことのある20代～50代の男女11名
調査期間	2025年1月5日～2025年1月8日 2026年3月29日～2026年3月30日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/sakamotodays/

■アンケート項目

Q1:年代と性別を教えてください。

Q2:SAKAMOTO DAYSの面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

Q1:年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代女性	2名
30代女性	2名
40代女性	2名
50代女性	1名
20代男性	1名
30代男性	3名

Q2: SAKAMOTO DAYSの面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

伝説の殺し屋として誰からも恐れられていた坂本が、かわいい女の子に一目惚れして、あっさり結婚して幸せな家庭を築いている所にほっこりしました。粗相をした子供に手をあげようとした男を瞬時に止めた所はカッコよかったし、実際に行動には移さなかったけど、妄想内で男を殺した時は驚きました。シンにしつこく再度殺し屋に戻るように促されても、きっぱりと断る坂本がかっこ良かったです。

友人に「面白いから読んでみなよ」と貸してもらってSAKAMOTO DAYSを読み始めました。

意外な展開に気圧されて当初はイマイチだと思っていましたが、読み進めるうちにどんどんハマってしまって今ではアニメも追う程になってしまいました。

どちらかというと王道な展開好きな私がハマったこの作品、今度は私も誰かにお勧めしてみようと思います

サカモトデイズはなんと言っても絵の迫力が凄すぎて、漫画なのにアニメを見ているような気持ちで見ることができる。さらにシリアスな描写もかなりあるが、コメディというか明るい要素などもしっかりと組み込まれているため、作品を通して中弛みを今のところ感じていないのが非常に良い。たくさんキャラが出てくるが、それぞれのキャラがしっかりしているためにそのキャラ自体がぼやけることもなく、いろんな角度でのカッコイイキャラの詰め合わせのような作品だと感じる。漫画を超える迫力をアニメでは出してくれると

思っているので期待がかなり高まっています。

元伝説の殺し屋、坂本が家族のために平穏な日々を送ろうと奮闘するコメディアクションで、一気に引き込まれました。殺し屋時代の恐ろしいスキルを駆使しながらも、どこか抜けた日常感とのギャップが面白く、思わず笑ってしまう場面がたくさんあります。特に坂本の寡黙だけど愛情深い性格と、個性的な仲間たちの掛け合いが絶妙で、読んでいて飽きません。また、シリアスな展開とアクションシーンも見応えがあり、テンポよく進むストーリーにワクワクが止まりませんでした。笑い緊張感が絶妙にミックスされた作品で、次の展開が待ちきれなくなるほど夢中になりました。

とにかく絵がすごく綺麗で丁寧に描き込まれていますし、何というか疾走感のようなものがある絵だと思います。戦闘シーンはすごく勢いがあるし、漫画としてだけでなく一枚の絵として見ても満足度が高いレベルでした。戦闘シーンは描写もグロくなく、スッキリするので見ていてすごく楽しめます。キャラも生き生きとよく動き、ちょっとしたギャグっぽい部分なんかも面白いです。

元殺し屋として名を馳せた坂本太郎のキャラがとにかく大好きですね。今はずんぐりむっくりのおじさんですが過去はめちゃくちゃイケメンで本当にときめくこと間違いなしです。ちょっと雰囲気的にゴルゴ13を彷彿とさせるような強さが最高にクールです。作中、坂本商店を営んでいるのですが普段は寡黙で何を考えているのかわからないミステリアスな感じも最高に好きですね。太ってはいませんが殺し屋としてのスキルが全く落ちていないのがこれまたとても魅力的な要素です。

この作品の最大の魅力はアクションシーンにあるような気がしますね。作画のクオリティが非常に高いので見ていてすごく興奮できます。一見弱そうな坂本太郎が敵の攻撃を受け流し攻撃を当てる様など漫画好きだったら心躍るシーンが必ず出てくるのもたまりません。物語展開もすごく良くてシリアスな雰囲気を遺憾なく発揮してくれる場面の数々にかかなりの魅力を感じます。

太目のおじさんです。なのになんでこんなにかっこいいのですか。なんでこんなにキュートなんですか。殺し屋をしていたのに、女性に一目ぼれしてその道を捨てる。そして平和に暮らす。なんだかいいですね。まあ人を殺し続けた血塗られた手を持つ男に愛されるって、女性の側としては複雑でもあります。とはいえ引退しても殺し屋はやっぱり殺し屋。放っておいてはもらえないんですね。

ふくよかな体形ながらやるときはやる。愛する女性のためなら人生を捨てる。これこそがイケオジってなのではないでしょうか。坂本太郎の魅力に思いっきりやられてしまいました。もともとは殺し屋だけど、何人も人を無慈悲に殺してきたような最低のやつだけど、子供を虐待するような奴よりは全然こっちの方が人として素晴らしいのではないのでしょうか。

『SAKAMOTO DAYS』は、面白さと過激さが混じった飽きることのない内容の漫画です。主人公の坂本太郎の独特な魅力と、躍動感あふれるアクション描写やギャグシーンが見どころです。キャラクターたちの個性豊かな掛け合いも楽しく、ストーリー展開に引き込まれます。週刊少年ジャンプらしさを残しつつも、斬新な要素を取り入れた意欲作だと感じました。

見た目は安西先生なのに、最強すぎる殺し屋っていうギャップにまず衝撃を受けました。しかも、戦闘シーンは、日常にあるようなおはしとかを武器にするっていう柔軟さ。かっこいい武器もいいですが、何でも武器にしてしまう技術力もまたかっこいいですね。昔は痩せていましたが、太っている今のほうがいい。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス